

K SS 遮断器取替工事現場視察

所属 電力部 氏名 N. M

第1回視察 平成30年 7月 2日(月)

第2回視察 平成30年 8月 8日(水)

1. 現場の第1印象

広い!大きい!

以前パトロールへ行った変電所は私達が普段生活している身近な場所にあったが、今回視察した変電所は自然に囲まれていて特別な施設という感じがした。中へ入るとたくさんの機器があり圧倒された。

2. 作業状況を見て思ったこと

1回目の現場視察は3班に分かれて作業をしていた。班ごとにヘルメットが色分けされており、赤はテーブルリフトで碍子養生と架線の切り離し、黄はガス抜きと回収、青は制御ケーブル切り離し。作業を始める前に現場代理人が中心となって、全体と班のミーティング、危険支障予知の確認など九電の方を交えて入念に行っていた。

テーブルリフトを施工場所まで移動させるとき、みんなで声を掛け合って姿勢を低くして運転していた。目に見えないけれど、すぐそばで電気が流れていることをあらためて実感したと同時に、危険と隣り合わせである環境に怖いと思った。作業時には呼称復唱をしていたので、今からどんな作業を行うのか見えていて分かりやすかった。

2回目の現場視察では、古いCBは撤去され新しいものが設置されていた。

クレーンを使って据付する動画を以前見せてもらっていたので、すぐに状況を把握することができた。その日は主に雑作業と掃除やコーキングという作業、足場の撤去をしていた。取り付けられた架台のボルト部分に赤い線が引かれていた。ゆるんだときや締め付けがきちんとされているかひと目で分かるように付けられているという。よくみると全てのボルトに赤い線が引かれていた。ほかの作業を見ていると細かく丁寧な作業が多くて感心した。

3. 今回、現場視察して

2日とも35度を超える暑い中、黙々と作業している姿を見て心からご苦労様だと思います。夏場の現場に行かせてもらったのは初めてで作業が始まる前のミーティングの時点で汗が大量にでてきて普段どんなに厳しい環境で作業されているのかを感じることができました。これからもみなさん無災害でがんばってほしいと思います。

以上